

北浦村報

第 4 号

発行所 山田大字北浦村役場
北浦村役場
発行人 真家襄之
印刷所 石崎印刷株式会社
電話(鈴田)一四八番

◎今月(六月)は村民税第一期の納期です
納期限内に完納いたしましょう
納期限前三日間公民館にて出張徴収いたします。

臨時議会開催

五月三十日 北浦村議場

当日会議に付された事件は次
議案才一九号 茨城県町村消
防団員公務災害補償組合
規約中一部変更について
議案才一八号 北浦村税条例
の一部を改正する条例につ
いて

残つたら、余つたらでは

お金はたまるものではありま
せん。そうです。心がけ工夫
ひとつで貯蓄は楽しくできる
ものです。そして、まさかの
ときつとアナタはお金にな
るでしょう。「ためていて本
当によかつた。」お金も働
き手です。

尺貫法は使わなくなり

三十四年からメートル法に

現在の複雑多岐にわたる尺
貫法、ヤード、ポンド法等
の計量単位は廃止され、昭
和三十四年一月一日から、
メートル法が全面的に採用
される。長さはメートル、
質量はキログラム、容積は
リットルまたは立方センチ
メートルであらわされるこ
とになる。これは三十四
年の一月からですが、官庁
や公共団体は率先してメー
トル法の実施をはじめるこ
とになり、この四月一日か

本年度の農業奨励事業と土木事業

農業奨励事業

今年是有畜を基とした農業経
営指導奨励を図るため優良種
豚の購入委託により市場価値
の高い品種の増殖により主穀
農業の旧穀を一部でも脱却し
農村恐慌に備えるため左の事
業を行う。

一、土地改良事業

今迄は一田二〇町歩以上の
大規模な改良でなければ
国補事業として取り上げら
れなかつたが一般には縁遠
いもので遅々として進捗し
なかつたが今年も昨年に引
続いて小規模土地改良(暗
渠排水のみ)実施者に対し
反当 二〇〇〇円以内
補助することにす。

二、病害防除事業

又広大な洪水土壌を有する
台地の酸性土壌の矯正解消
を図るため村内外各農協を通
じて石灰をコスト安に販売
する。

三、病害防除事業

保温折衷苗代の増加に伴な
い病害害も相当発生すると
予想されるので自から防除
を奨励する。

四、農具の設置、農業の使用

昭和三十二年までは奨励事
業として国補が坪当り一八
円五〇銭有つたが昨年度よ
り打ち切り農業改良資金制
度により融資に移行された
が村としては奨励の段階に
あるので昨年同様

五、養豚事業普及奨励

昨年度も神奈川県より種牝
豚を購入し委託貸付をして
居りますが成育状況が良好
でそれ、才一産が八頭以
上生産されておりますが種
豚登録が書類の都合上遅れ
たため登録の登記が出来ず返
還になつて居りません。才
二産からは種豚の登録をし
ましたので返還もありこの
秋には委託貸付が出来ます

六、農業、防除器具は農協育成

の意味から村内農協以外か
ら購入した場合は補助の対
象になりません
五人以上の共同購入が該
当し個人購入は該当にな
りません

土木事業

一、要地区

南高岡境より小幡原道まで
の道 一〇〇〇米
北高岡境より麻生境まで
の道 一〇〇〇米
津澄地区
繁昌木戸より庚申塚まで
の道 一〇〇〇米
山田郷より並松まで道の内
一〇〇〇米

二、武田地区

帆船倉庫より帆船倉台ま
で 三〇〇〇米
三、寺島地区より開拓道ま
で 一〇〇〇米
又改良路以外についても局
部補修用砂利を確保し悪路
の一掃に努める

三、大字成田

神田橋
二、大字小幡 寄井橋
三、大字内宿 大橋
県道については水戸、鉾田、
佐原線の大字山田本宿地先が
屈曲し年々交通事故が累増し
危険の状況にあるので局部改
良工事の促進方を過般県に陳
情した結果本年度に取り
上げ実施される見通しがつい
た

四、大字成田

三九〇〇米
(小幡津より山田、小幡、両
宿、次木、行戸を経て小貫
南原に至る)
を改良することになり現在小
幡、行戸線は関係区民婦人会
及び青年団の協力により(勤
労奉仕人員約延一五〇〇人)
現在実施中である

五、小幡津

現在実施中である
小幡津、南原線については関
係受益者の協力と自衛隊の機
動力により九月頃実施の予定
である

六、小幡津

向このことに就ては近日懇談
会を開き関係者協力を求める
一般事業はトラックを購入し
県支給砂利の運搬と三輪車の
盛土により改良維持に当ると
共に老朽橋の架換えも実施す
るが去る五月二日の道路改良
委員会に於て各部より改良
路線の申請を頂き土木常任委

七、小幡津

員会にて実地調査の上旧地区
一路線づつ取上げ改良するこ
とに決定し五月二十二日委員
会において実地調査の結果旧
地区二線づつ左記路線を改良
することに決めた

防犯モデル要地区

(防犯協力会)結成(さる)

昭和三十三年度麻生署管内防
犯モデル地区として要地区が
指定され去る五月六日に要公
民館に於て麻生警察署長
外係官出席のもとに結成式と
防犯協力会の役員は左のと
おりです
委員長 北浦村消防団要支団長
副委員長 村長 真家襄之
顧問 議長 出久根保
消防団長 千ヶ崎惣右エ門
連絡員 後谷忠衛、齊藤盛作

今年も他県より種豚を購入し
廉価に農作物を販売するより
も家畜を通して地力増進のた
めの堆肥増産と、ひいては農
産物の高価販売を併せ秋仔豚
を導入し品質改善の目的で委
託貸付をする 経済課

一、要地区
南高岡境より小幡原道まで
の道 一〇〇〇米
北高岡境より麻生境まで
の道 一〇〇〇米
津澄地区
繁昌木戸より庚申塚まで
の道 一〇〇〇米
山田郷より並松まで道の内
一〇〇〇米

二、武田地区
帆船倉庫より帆船倉台ま
で 三〇〇〇米
三、寺島地区より開拓道ま
で 一〇〇〇米
又改良路以外についても局
部補修用砂利を確保し悪路
の一掃に努める

三、大字成田 神田橋
二、大字小幡 寄井橋
三、大字内宿 大橋
県道については水戸、鉾田、
佐原線の大字山田本宿地先が
屈曲し年々交通事故が累増し
危険の状況にあるので局部改
良工事の促進方を過般県に陳
情した結果本年度に取り
上げ実施される見通しがつい
た

◎道路改良委員
委員長 横田 格
副委員長 小島 勝二
委員 加納 佐一
有馬 実、内野国造
齊藤金雄、原 四平
米沢政一郎、岡部忠
清水忠太、郡司 昌
森崎 虎、栗俣多重
高柳 知、辺田恒寛
横瀬 正、勢原幸雄
大平 正、塚原幸助
高柳 嘉、齊藤英郎
大原 一也、泉 昇
郡司久男、前田良雄

戶籍係

昭和三十一年度総会を五月十七日役場会議室でひらき昭和三十一年度事業計画予算案を審議し左記の如く役員を決定した。

教育委員会
だより

戶籍屆出事件一覽表

法令で一定されておりまして、五百円以下の過料に処せられ、届出義務者正当の理由があることがありますから注意し、届出義務者正當の理由がな
て期間内に届出をしないと
なければなりません、そこで
表でござん下さい。

實踐運動について

私達は健康でありたいことを常に念願している健康であることと自身が既に立派な財産であると云ふようし、この健康ということは単に病気をしないとか丈夫であると云ふこと、この健康を確保するために病

戶籍手數料一覽表

種 別	単 位 及 び 額
戸籍簿、除籍簿又は届書その他市町村長の受理した書類の閲覧	一回につき三十円
戸籍の謄本又は抄本の交付	一枚につき （一枚に満たないときは一枚とする） 三十円
戸籍の謄本若しくは抄本の記載事項に変更がないことの証明又は戸籍に記載した事項に関する証明	一枚につき三十円
届書その他市町村長の受理した書類に記載した事項の証明書の交付	一件につき三十円

農地代金の納入について

るがその中でみんなが最も希望しやり方も簡単で効果のあがりやすい仕事に蚊とハエをなくする事業がある蚊とハエの存在はうるさくていやらしい全く邪魔ものであるばかりでなく伝染病を媒介するので誰れもが共通した悩みの一つであるこうした蚊とハエを生活の周囲から追払つて明るく住みよい郷土をつくらうと努力したいものである、蚊やハエがいなくなれば生活が健康的で気持ちいものとなり、伝染病は殆ど姿を消して医療費や家計費が節約され牛乳、山羊乳、鶏卵などの増産となつて生活のゆとりができ、更に広い範囲の生活改善へのたくましい発展となるのである、今の世の中では自分だけの力で自分の健康を守り通すことはできない今年度の衛生モデル地区次木、小幡の一部、山田繁昌の一部に実施する蚊、ハエ駆除事業の完成には地域社会の理解ある協力的な民衆組織と高度な科学性を必要とした正しい知識と技術が必要である皆さんの絶大なる御協力をお願いする。

厚生課

自衛官募集

◇試験は簡単な筆記試験（国語、数学、社会）口述試験及び身体検査が行われ一日で終ります。

北浦村基本財産として山林寄付さる

今般内宿高柳庄次郎氏より村
基本財産として
大字両宿地内字武藏野
一、〇六八
一、山林式町四反歩 外一筆
計二町九反六畝二十六歩
が寄付されました。

◎役場電話の増設
北浦局七九番

が増設されました